

こもれびの窓 vol.36



# 母校への愛あふれる 樟蔭同窓会

樟蔭同窓会は、学園創立の翌年、1918(大正7)年に初代校長の伊賀駒吉郎が会長に就任し、誕生しました。卒業生が親睦を深める場としてだけでなく、母校の発展を願い活動されています。2017年に迎えた学園創立100周年という大きな節目に同窓会会長を務められている杉田句子さんに、今の思いをお聞きました。

## 樟蔭同窓会 会長 杉田句子さん

1973年3月樟蔭高校卒業、1977年3月近畿大学薬学部卒業。薬剤師。2010年5月から樟蔭同窓会会長。現在3期目。姉と妹、娘も樟蔭の卒業生という樟蔭ファミリー。



### ◆時代が変わっても受け継がれる伝統

樟蔭高校へ通っていた姉の影響を受けて、私も樟蔭高校に入学しました。自由で明るく、朗らかな女子校らしい雰囲気が好きでした。中学の時から数学が得意だったので理系へ進もうと決め、受験勉強に励みました。なんといっても樟蔭は個性を伸ばしてくれる学校ですから、自分次第で思いっきり勉強ができました。卒業後は近畿大学の薬学部へ進み、薬剤師になりました。娘が中学に進学する時、「いい友達がたくさんできる」「生徒と先生との距離がすごく近くて安心できる」「女性として必要な教養が身に付く」と私が実感していた樟蔭の良さをそのまま伝えて、勧めました。娘が入学したのは1991年。私が卒業して18年経っていましたが、時代が変わっても伝統が受け継がれているところを見ると、「樟蔭らしさ」は変わらないなど、うれしく感じました。

### ◆誘われて同窓会委員に

同窓会委員になったのは娘が高校1年の時でした。学園の方から「母校に行く機会が増えるよ」とお声を掛けていただきました。それまでは薬局の仕事が忙しくて、文化祭などの学校行事にも行けていなかったため、ちょうどいい機会を与えてもらったと思いました。

### ◆同窓会にも「樟蔭らしさ」

同窓会では総会のほか、年2回の教養講座、会報「みどり」の発行を続けています。常任委員は40～90代の70人ほど、実行委員は17、18人です。委員の皆さんは、母校への愛情「樟蔭愛」がとても強く、しっかりご自分の意見を持っておられ、最初は驚いたほどです。特に私より1世代上の先輩は、「樟蔭のためなら」という母校愛があふれています。それぞれに母校への強い思い入れがあるので、会議では白熱した議論になることもよくあります。ですが、会議が終わるとすぐに和気あいあいとした雰囲気になります。年代を超えてすぐに親しくなれるのは同じ環境で育ったという思いがあるからでしょうね。同窓会の中にも、「樟蔭らしさ」はしっかり生きています。

### ◆学園が創立100周年を迎えて

会長を務めて3期目になりますが、同窓会の中では私はまだ真ん中より下の年代です。ここ数年は同窓会主催の創立100周年へ向けた活動が多く、学園の未来を考える会議など学園と連携しながら進めてきました。100周年記念祝賀パーティー(11月28日、ホテルニューオータニ大阪)は約570人に集まっていたいただき、大成功でした。サプライズでテノール歌手の秋川雅史さんに校歌を歌ってもらったり、わくわくするような食事の演出など、思い出に残る工夫を凝らしました。友だち同士で参加された人も多く、長い学園の歴史を感じる一日になったと思います。会場に咲いたたくさんの笑顔を見ると、大変だった準備の苦労も忘れてしまうほどでした。これも同窓会の顧問、役員委員の皆様のおかげと深く感謝しています。



### ◆母校への思いを込めて

学園創立100周年を祝って同窓会からは体育館(100年会館)の2階ステージに川島織物製の緞帳を贈呈しました。また、これからの樟蔭生の学びの一助になればと私たち卒業生の母校への思いを込めて寄付金も贈りました。

### ◆次の世代へ受け継ぐ

会長としては、次の世代の同窓会委員を育てることも大切な役目だと思っています。結び付きの強さが樟蔭の良さです。この絆をさらに強くして、これから先も全力で学園を応援できるように組織を充実させていかなければなりません。そのために総会時の学年会に「高校卒業30年の会」や「還暦の会」を新しく加えました。参加者が増えているのはとてもうれしいことです。是非、5月第3日曜日の同窓会総会にご参加ください。

### ◆在学生へメッセージ

最近、大学の行事に参加する学生が減っていると聞きます。もったいないですね。例えば大学祭「くすのき祭」の袴コンテストは、大勢の前で作文を読んで自分の思いを伝えるのですが、参加したという経験が必ず自信になるはず。学生時代にいろんな経験を積んで、失敗を恐れず、どんどん挑戦してほしいですね。私たちも応援しています。



左：メニュー名に校歌の一節(愛に輝く園生)を取り入れた前菜  
右：100周年のロゴマークを飾ったデザート



hagukumu

育むこころ

05

kokoro



本物に触れる学びが  
未来を切り開く女性を育てます

樟蔭高等学校  
健康栄養・フードスタディコース主任  
尾崎幸子先生



長い間、樟蔭高校で家庭科教員として生徒の指導に情熱を注いできた尾崎幸子先生。自らの力で未来を切り開き、社会に貢献できる有為の女性を育ててきました。樟蔭高校、大阪樟蔭女子大学の卒業生でもある尾崎先生に伺いました。

◆クラスはひとつの家族

かれこれ40年近くも生徒の指導をしてきましたが、私自身、高校に入学してすぐ、女子ばかりの生活になじめなかったのと、入りかった剣道部がなく、学校に行くのが嫌だった時期がありました。先生に相談すると「良いところを伸ばせばいいのよ」と言ってくださった。その言葉でなんだかパッと未来が開けたように感じてうれしかったのを覚えています。

当時は1クラス48人で、春・夏・秋・冬・花・月・雪・星・空・雲・水・風・虹まで13クラスありました。クラスには活発な子や個性的な子が多く、それぞれが自分の目標に向かって、ひたむきに努力していました。意見をぶつけ合うこともありましたが、まるでひとつの家族のようでした。学級委員、美化委員、生活委員など各委員がそれぞれの役割に責任を持って、皆が自主的にクラスを運営していました。

自分たちで考えて動く。そのような子ばかりでしたから、文化祭の大道具制作では、学園の専属大工さんと交渉して、舞台を作って演劇をしたほどです。高校生活は本当に楽しかった。仲間と

一緒に学びたくて、大学も樟蔭へ。大学では剣道同好会を立ち上げ、食物学科の実験と剣道に明け暮れる日々でした。

◆育ててもらった樟蔭に恩返しを

教員を目指したのは中学の頃でした。きっかけは、担任の先生の言葉にとっても傷ついた経験があったから。子どもの気持ちを一番に考えられる先生になりたいと思いました。樟蔭で親身に相談に乗ってくださる先生に出会い、ますます教員になりたい気持ちが強くなりました。就職先に母校を選んだのは、私の芽を育ててもらった樟蔭に恩返ししたいと考えたから。教員になって、生徒と先生の距離が近く、生徒の個性を伸ばす樟蔭らしい教育は今も変わらないと、改めて感じました。教員になってからも先輩にたくさんのことを教わり、支えられてきました。気がつけば、一番上の年齢になってしまいましたから、先輩の教えから学んだことを樟蔭の伝統として、若い先生に引き継いでいきたいと思っています。

◆伝統ある教育

樟蔭の教育の特徴は、戦前から続くテーブルマナー講座など時代を先取りした「本物に触れる」教育。聖ハルナバ病院(大阪市天王寺区)実習もそのひとつです。30年ほど前に服部昭子先生、山口順子先生のもと、女性の身体や母性を学ぶ授業を家庭科に取り入れました。実際に胎盤を触ったり、出産の映像などをみます。当時は衝撃的でしたが、女性が自分の人生をよりよく生きるために必要なことです。卒業生から「学んでよかった」と聞くと、あの時、思い切って取り入れて本当に良かったと思っています。

最近では、フードスタディコースを作り、「食」の学びに力を入れています。7年前に立ち上げた健康栄養コースをさらに特化させました。卒業生で料理研究家の田中愛子先生が提唱する「食卓上のフィロソフィー」に沿って、食の知識と食の技術を学ぶ授業です。作って食べる、という簡単なものじゃないんですよ。「持続可能な地球のために、未来の子どもたちのために今、私たちに何ができるか」を考える学問で、学ぶことは山ほどあります。しかも、日本の高校で初めて



(中列右から3番目) 高校文化祭ではクラスで演劇「夕鶴」を演じました

高校フォークソング部の生徒たちと



の取り組みだったので、参考のできる学校や資料もなく、まず教員が勉強することから始めなければなりません。新しいものを築き上げるといことは、想像を絶する大変さでした。ですが、どんなに大変でも「本物を教えたい」という気持ちのもと、試行錯誤を繰り返しました。本物に触れる教育は、女性としての豊かな教養や知識を育みます。そして人生を切り開く力になると私は信じています。時代が変化しても、ぶれない教育方針は受け継いでいきたいですね。樟蔭のよき伝統だと思っていますから。

◆樟蔭は人生そのもの

いま、改めて振り返ってみると、高校、大学、そして教員と、ほとんど樟蔭で過ごしたことになります。樟蔭は私の人生そのものです。ですから樟蔭は温かい「ふるさと」のような存在なんですね。

ひとつ気になることがあります。最近の生徒たちを見ていて、自己肯定感の低い子が多かったり、自分自身の殻に閉じこもっていることがあるんです。もっともっとチャレンジすることを恐れず自信を持って欲しいと思います。私たち教員は、そんな生徒たちをサポートすることが務めです。そばで見守っていますから、勇気を持って一歩を踏み出して欲しいと思います。また、卒業生には、創立100周年を迎えた樟蔭の卒業生として、「誇り」を持って、それぞれの道を歩んで欲しいと願っています。

大学祭「くすのき祭」にて



●おざき・さちこ 1955年生まれ。1974年3月樟蔭高校卒業、1978年3月大阪樟蔭女子大学学芸学部食物学科卒業。同年から母校の樟蔭高校の非常勤助手、非常勤講師を経て、1982年から家庭科専任教諭。現在、健康栄養・フードスタディコース主任。フォークソング部顧問。趣味は詩を読むこと、ロックやジャズなど音楽鑑賞。学生時代に剣道3段を取得。

樟蔭学園 東大阪市 100周年×50周年 記念の年、コラボ企画が実現!

学園は創立100周年、東大阪市は市制施行50周年というお互いが節目の年を迎え、特別なコラボレーションが実現しました。

「樟徳館」など文化財の特別公開と「帝国キネマ展」を開催

11月12日(日)、学園が所有する国の登録有形文化財「樟徳館」「記念館」「樟古館」を特別公開しました。

「樟徳館」は、「東洋のハリウッド」と呼ばれた「帝国キネマ長瀬撮影所」(1928-1930)の跡地に学園創立者の私邸として建てられました。普段は4年に1度の公開ですが、東大阪市と東大阪観光協会のボランティア・大学茶道部の協力を得て、名建築に触れていただく機会を設けました。

「記念館」では帝国キネマ長瀬撮影所に関する希少資料やパネル展示、白川哲郎教授(国文学科)の講演会「樟徳館前史～未完の帝キネ物語 in 東大阪～」を、「樟古館」では学園のあゆみを紹介するパネルや開校当時の教育備品などを展示しました。

さらに、この日は田辺聖子文学館も臨時開館。開催中の開館10周年特別企画展「聖子とすず」など田辺文学の世界を楽しんでいただきました。



樟徳館



記念館



樟古館



市制施行50周年記念 スペシャルコンサートに出演

10月27日(金)、東大阪アリーナで開催された「市制施行50周年記念スペシャルコンサート」のオープニングアウトに中高のバトントワリング部とボンボンチア部が出演し、息の合ったパフォーマンスを披露しました。このスペシャルコンサートに先立ち、世界大会で銀メダルを獲得したバトントワリング部部長の●●●●さん(高校3年)と、中学バトン部部長の■■■■■さん(中学3年)、顧問の三輪涼子先生がFM OH!(FM OSAKA)の人気番組「LOVE FLAP」内の東大阪の魅力伝えるコーナー「COLORFUL LIFE」にゲスト出演。初めてのスタジオ収録に緊張していましたが、いざ本番となる



とパーソナリティーの軽快なトークに導かれ、部活動の紹介やバトントワリングの魅力、コンサート告知などリラックスした様子で話せたようです。

9月14日(木)、21日(木)、28日(木)にオンエアされました。



美を通して社会に貢献する



OSAKA SHOIN WOMEN'S UNIVERSITY



「美 beautiful」シンボルマーク



3つの美(知性美・情操美・品性美)

6つのビジョン

- 知性の「美」を中心に、情操の「美」、品性の「美」を高める学び
- 充実したキャンパスライフを支えるサポート体制
- 良きパートナーシップ精神をもった地域貢献、社会貢献の推進
- アカデミックな観点から「美」にアプローチする研究の推進
- 多様性を尊重し合う学生の受け入れ
- 樟蔭から世界につながるネットワーク構築



「美 Beautiful」をスローガンに 大学グランドデザインを提示

学園100周年を迎え、大学は2030年に向けたグランドデザインのスローガン「美 Beautiful」を昨年提示しました。100年にわたり多くの人材を輩出してきた歴史と伝統を踏まえ、知性・情操・品性といった多彩な「美」を追求し、未来に向けた大学像を構築していきます。

多彩な「美」を兼ね備えた社会の要となる人材の育成を通して社会に貢献できるよう、自ら考え判断し行動する課題解決型教育を展開していきます。学生が主体的に学んでいく教育環境を整備するとともに、生活面やキャリア面でも学生をサポートし、ひとりひとりの「希望の花が育つ」キャンパス環境を提供していきます。

2018年「くすのき健康栄養センター」を開設します

2018年、栄養面から健康美を追求する「くすのき健康栄養センター」を開設します。「人間栄養学」に基づいた管理栄養士・栄養士を目指す学生の実践教育・研究の場であるとともに、地域医療や自治体と連携して栄養相談を実施します。これは大学附属機関として大阪では初めての試みとなります。地域住民の健康増進のみならず管理栄養士など医療関連職種に対する職能向上のための講習や研修など、健康と栄養の情報啓蒙拠点としての役割を担う場となります。

特別記念公開講演会 「自分らしく美しく生きる」を開催しました



白井文(しらい あや) 全日空で客室乗務員として11年間勤務した後、人材育成会社を起業。尼崎市市議会議員(2期8年)、尼崎市市長(2期8年)を務める。現在、グンゼ(株)取締役、ペガサスシン製造(株)取締役、住友精密工業(株)取締役、一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団執行理事



大学のグランドデザインを記念して11月11日(土)、元尼崎市市長の白井文さんを迎え、特別記念公開講演会「自分らしく美しく生きる」を開催しました。講演で白井さんはエピソードを交えながら自身の経歴を振り返り、「他の人からの依頼を断らなかったことが、新しい世界のスタートだった」と語りました。このなかで市長2期目に尼崎市内で起きたJR福知山線脱線事故は、地震などの自然災害以外で初めて災害対策本部を設置したケースで対応マニュアルもなく、「市長が逃れることはできない」



と自ら陣頭指揮を執ったことを話しました。そのうえで、日頃から頭で考える、多様な人と触れ合う、人の良いところをほめる、コミュニケーション能力を鍛えるという4点を挙げ、「この能力を鍛えれば、困難な状況に直面した時に芽が出る」と強調しました。そして、「自分がどれだけ自信を持っているかを迷う前に、まず一步を踏み出すことが大切。常に頑張っている女性にエールを送りたい」と挑戦する女性にメッセージを送りました。

幼稚園

100歳のバースデーケーキも登場  
幼稚園運動会

附属幼稚園の運動会を10月8日(日)に開催しました。この日を楽しみにしていた園児たちは、かけっこやリレー、綱引き、玉入れ、樽太鼓など一生懸命に頑張りました。ゴールに向かってまっしぐらに走るたくましい姿や元気いっぱい踊る姿に、会場から大きな声援と拍手が送られました。

学園の創立100周年をお祝いしてみんなでダンスを披露しました。さらに、園児たちが手作りした大きなバースデーケーキも登場。ケーキには100本のロウソクを飾り、「100歳のお誕生日おめでとう」とうれしそうなお声がグラウンドに響きました。園児たちの成長を感じるとともに、樟蔭への愛があふれる運動会になりました。



大学

「Anniversary」をテーマにくすのき祭



第67回くすのき祭を10月21日(土)、22日(日)に開催しました。テーマは「Anniversary～未来につなぐ100年の軌跡～」。創立100周年という記念すべき年の大学祭を盛り上げ、これからも伝統を引き継いでいきたいという願いを込めました。

1日目は学生が企画、出演するファッションショーやヘアショー、インディーズライブのほか、恒例の「ミス樟蔭コンテスト」など、来場者を楽しんでもらえるプログラムを用意しました。スイーツや焼きそば、スープなど約40の模擬店も大賑わいとなりました。2日目は台風の影響で、午後1時にやむなく中止に。予定していた全てのプログラムを行うことができませんでしたが雨の中、ご来場いただき、ありがとうございました。次回のくすのき祭にご期待ください。



大学

英語力を競う「樟蔭杯2017」を開催しました

英語力を競う「樟蔭杯2017」(主催：英語教育センター、樟蔭中高、大学国際英語学科▽後援：大阪府教育委員会など)を開きました。創立100周年の記念事業の一環で、大阪府、奈良県近郊の女子児童、生徒の英語力向上を目指し、企画しました。実行委員長を務めた山岡賢三・英語教育センター長は「これからも地域還元できる企画を実行していきたい」と話しています。当日の様子は、大阪日日新聞に掲載されました。



中学生の部

小学生の部



「英語発表大会」  
8月27日(日)開催  
小学生14人が参加し、英語によるストーリーテリング、紙芝居、落語、プレゼンテーションなどを発表しました。1位の理事長賞は大阪市立新今宮小6年、●●●さんが受賞しました。●●●さんは「将来は外国で活躍できる人になるために、これからも英語の勉強は頑張っていきたい」と話していました。

高校生の部



「英語プレゼン大会」  
11月26日(日)開催  
中学生11人、高校生18人が英語を使ったプレゼンテーションに挑戦しました。中学生の部理事長賞は大阪市立咲くやこの花中学3年、■●●●さんが、高校生の部理事長賞は大阪市立咲くやこの花高校2年、▲▲▲▲さんが受賞しました。本校からは高校生の部に出場した樟蔭高校2年の◆◆◆◆さんがウェブリオ賞を受賞しました。

中学校・高校

「百～奇跡×軌跡～」

9/20 体育祭&全校レクリエーション

9月20日(水)に体育祭(高校)と全校レクリエーション(中学)を開催。体育祭は「私たちの軌跡 起こすぞ奇跡」、全レクは「盛り上がり!! 記念すべき100周年の全レク」をサブテーマに熱い戦いを繰り広げました。

体育祭の団体競技のメインとなる高校3年の「青春の躍動」は1学期から構想を練り、振り付けを考え、練習を重ねてきました。衣装も生徒たちの手作りです。その集大成となった3分間の本番は、

今年の若葉祭は「百～奇跡×軌跡～」を全体のテーマに掲げました。樟蔭で学ぶ生徒や先生、保護者、関係者の方にめぐりあえたことが「奇跡」です。そして今、私たちがいるのは先輩たちが残した「軌跡」があるからです。100年目の節目にふさわしい「奇跡×軌跡」を作りたい。テーマにはそんな思いを込めました。

どのクラスも素晴らしい出来でした。優勝は冬組の演技「五輪(オリンピック)～In winter～」でした。体育祭、全レクとも花形のリレーでは、生徒たちの真剣勝負に応援にもひときわ熱が入り、大いに盛り上がりました。

今年は創立100周年を記念して、特別バージョンのうちわが登場しました。中高共通で使えるようになっていて、表は制服と体育祭のプログラムを、裏は体操服と全レクのプログラムを掲載しています。とても可愛いと評判でした。



高校3年の「青春の躍動」



中学のリレー

10/1 文化祭



10月1日(日)に文化祭を開催しました。「長日月ノ軌跡」をサブテーマに樟蔭生が一体となり文化祭を盛り上げました。長日月は長い年月のことです。これまでの軌跡があるからこそ100年を迎えることができました。さらにこれからは軌跡を描き続けていきたいという思いを込めました。

当日は、全国レベルで活躍するクラブの演技や音読、合唱、ミュージカルなどの舞台発表をはじめ、クラブ発表や学年やクラス、コースの取り組みなど、日ごろの努力や練習の成果を発表しました。文化祭は自治会執

行部の協力のもと、文化祭実行委員会が運営しています。中学1年～高校3年の38人のメンバーが半年間、この日のために準備してきました。実行委員会は紫色のスタッフTシャツを作り、文化祭を支えました。メンバーの皆さん、おつかれさまでした。



文学館

田辺聖子文学館開館10周年  
特別企画展を開催



2017年、田辺聖子文学館は開館10周年を迎えました。そこで、開館10周年と学園創立100周年を記念して、田辺さんが樟蔭女子専門学校に在籍した時代の作品を集めた特別企画展を開催しました。第1弾「田辺聖子と樟蔭」(6月1日～7月1日)は在学時の田辺さんの様子が分かる資料や後輩に向けて書いた「読書のすすめ」などを展示。第2弾「田辺聖子物語ー作家の自伝的作品」(9月20日～10月11日 大阪府立中央図書館にて)では、田辺さんが自らの半生を俯瞰して書いた「田辺聖子物語」ともいえる自伝的作品5作品を紹介しました。第3弾「聖子とすず」(10月21日～11月25日)では田辺さんの少女時代を描く自伝的作品「欲しがりません勝つまでは」と、その作品を参考文献の一つとした漫画「この世界の片隅に」(この史代作)などを紹介しました。

**国際英文学科の学生が  
国際学会で奨励賞を受賞**

国際英文学科3年生の●●さん、●●さんと■■■■さんが、8月に韓国・金泉市で開催された第7回東北亜細観光学会国際学生大会 (International Conference by Tourism Institute of Northeast Asia, Gimcheon, 2017)においてすべて英語で研究発表を行い、奨励賞を受賞しました。この大会は日本と韓国の観光学を専攻する学生による研究発表の場です。先行研究の分析からスライドの作成まですべてが初めての経験だったといえます。



左から●●さんと■■■さん



研究テーマ「おみやげに関する日英文化比較」

**TEAM SHOIN  
AGG世界選手権へ**

5月にフィンランドで開催されたAGG世界選手権(World Championship in AGG 2017)にTEAM SHOINが日本代表チーム(全3チーム)として出場しました。非常に美しい演技と評されながらもわずかな差で予選通過は果たせませんでした。試合は残念な結果となりましたが、会場では日本女子体育大学、TEAM JAPAN、国士舘大学男子新体操部とともに、エキシビションで演技を披露しました。メンバーはAGG発祥の地と言われるフィンランドで本場の盛り上がり肌を感じ、多くのものを得て帰ってきたようです。



**バトントワリング部が  
世界大会で銀メダルW受賞**



中高バトントワリング部は8月にクアアチアで行われた世界大会「2017年IBTFグランプリ大会」に出場し、チームが銀メダルを獲得しました。クアアチアで行われたもうひとつの世界大会「第9回WBTFインターナショナルカップ」でもチームが銀メダルを獲得。また、個人種目でも入賞するなど、日頃の練習の成果を發揮して好成績を収めました。生徒たちはこの経験を糧に次の目標に向かって頑張っています。これからも応援をよろしく願います。



**文楽の吉田先生が  
人間国宝に認定されました**

国際英文学科の非常勤講師の吉田和生先生が人形浄瑠璃文楽の人形遣いとして重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。「何百年も続いた文楽に携わる者として、芸の質を落とさず次代につなげることが使命」と認定に対する喜びを語られました。吉田さんは1967(昭和42)年、人形遣いの吉田文雀さん(人間国宝、2016年死去)に入門。立役から女方まで幅広い人物を演じ、師匠の品格高い芸を継承しています。本学では2010年から国際英文学科の「日本文化実習」を担当し、文楽を通して「上方文化」や「日本の伝統文化」の奥深さや楽しさを伝えています。



**中高の「プライドカード」が  
紹介されました**

7月8日(土)の毎日新聞朝刊に中高の「プライドカード」の取り組みが大きく取り上げられました。「日々の記録をつづる生活学習ノート」を毎日英語で書き続けている。「不登校ぎみの友人に献身的に寄り添った」「1学期に図書館の本を55冊読んだ」など、目立たないけれど、毎日コツコツ努力するがんばりやさんを評価してあげたい。そんな気持ちからプライドカードが生まれました。日ごろの努力を陰ながら見守る先生から校長先生に伝えられ、メッセージを添えたカードが生徒の自宅に届きます。これからも生徒のたくさんの「いい所」に気づける学校でありたいと思っています。



**×門真市  
婚姻届・婚姻届記念証  
出生届記念証が完成**

化粧ファッション学科3年の16人が門真市オリジナルの婚姻届、婚姻届記念証、出生届記念証を制作しました。婚姻届と婚姻届記念証は2枚綴りの複写式で、1枚目は市役所に提出する婚姻届、2枚目は婚姻届提出後に持ち帰ることができる記念証にしました。出生届記念証はA4判の横開きで、記念証を開くと市のイメージキャラクター「ガラスケ」が飛び出します。誕生日時や体重、身長が記載できるほか、足形・手形を残すスペースや写真の貼付スペースも用意しました。学生たちは自分が結婚・出産するときにどんなものかいいのを考えてデザインしたといいます。11月から市役所市民課などで配布されています。



**×香芝市  
×ガラス彫刻工房ONO  
どすこい!ガラスが完成**



香芝市産学連携促進事業として、ライフプランニング学科の学生5人がガラス彫刻工房ONO(香芝市)と「どすこい!ガラス」を作りました。10月に初開催された「大相撲巡業〜香芝場所」の開催記念グッズとして企画。ガラスには学生が考えたコピー「どすこい!香芝」の文字や、相撲発祥の地「香芝」をイメージしたイラスト、ガラスの底面を土俵に見立てるなど学生のセンスを生かした商品に仕上がっています。ガラスは3種類(クリアガラス、カットガラス、陶器)あり、すべてサンドブラスト加工しています。

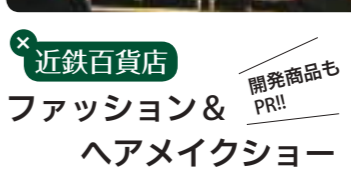


クリアガラス      カットガラス      陶器



**×近鉄百貨店  
ファッション&  
ヘアメイクショー**

12月10日(日)、大阪市阿倍野区のあべのハルカス近鉄本店でファッション&ヘアメイクショーを開催しました。ショーは学生団体「TEAM☆Glitter」と「ame」が企画、運営しました。「ショッピング」「女子会」「デート」「パーティー」をテーマに、学生が創作した衣装を身にまとい、モデルを務めました。モデルのヘアメイクも学生が担当しました。また、学生がインターンシップを通じて商品化したアイテムも紹介。学生のアイデアを盛り込んだ完成度の高いショーに会場から大きな拍手が送られました。



(株)ジェットSetter



**×(株)オニメガネ  
樟蔭学園100周年記念「めがね」**

化粧ファッション学科の学生が福井県のメガネメーカーと約1年半かけて「樟蔭学園100周年記念めがね」を完成させました。実際に工場を訪問して、メガネ作りの工程を学び、細部に至るまでこだわって仕上げました。スクールカラーの深緑色と、学園のコミュニケーションマークをコンセプトにデザイン。上品で、少しレトロな雰囲気が特徴です。学生たちは「小顔効果も期待できる、オシャレな一品ができあがりました」と喜んでいました。価格35,000円(レンズ代別途)。100本限定で販売しています。スペシャルサイト(<http://www.onimegane.jp/shoin/home.html>)から購入できます。

ライフプランニング学科の学生が地域の魅力や課題を探るプロジェクトをスタートさせました。11月には小浜市田島地区の住民有志でつくる「たがらす我袖倶楽部」の協力を得て、サバのへしこで作るなれずしの製造を体験。「臭そう」などマイナスイメージがある郷土食のなれずしを、どう売り出していべきか意見を交わしました。今後、福井の里山・里海食景観を実習で体験し、女子大生ならではの視点で見つけた地域の魅力を県外に発信する予定です。

**×小浜市  
里海の郷土食で  
地域おこし**



● 皆様とのコミュニケーションスペース

クラブ活動報告

2017年4月21日～11月30日 ※学年は受賞当時を記載

中学校・高等学校

バントフリング部

<中学校・高校>

- プロ野球交流戦オリックス対阪神 OPセレモニー(6/9)
●IBTF Grand Prix(8/4~8/6)
●WBTF International Cup(8/9~8/13)
●JAPAN CUP 2017 全国中学校マーチングバンド...

体操部

<中学校>

- 大阪中学校選手権大会(7/24~7/25)
●大阪中学校総合体育大会(10/21)

<高校>

- 春季大会(4/29~4/30)
●大阪高校選手権近畿大会予選(5/27~5/28)
●近畿大会(6/16~17)
●全日本ジュニアクラブ選手権(8/12~8/14)

ボンボンチア部

<中学校・高校>

- プロ野球交流戦オリックス対阪神 OPセレモニー(6/9)
●JAPAN CUP 2017 全国中学校バントフリング選抜大会
●JAPAN CUP 2017 全国高等学校マーチングバンド...

ソフトテニス部

<中学校>

- 平成29年度第20回大阪私立中学校総合体育大会(8/3)
●大阪高校春季大会(個人:5/27、団体:6/4)
●大阪高校新人大会(11/11)

テニス部

<高校>

- 第32回東大阪市高等学校テニス大会(7/26~7/27)
●第72回大阪高等学校総合体育大会テニス大会

バスケットボール部

<中学校>

- 春季中河内バスケットボール大会(4/15~4/30)
●平成29年度東大阪市バスケットボール市民大会
●第71回大阪中学校選手権大会(7/8~7/29)

バドミントン部

<高校>

- 第71回大阪高等学校春季バドミントン競技大会(4/29~6/3)
●第72回大阪高等学校総合体育大会(8/9~8/22)

- ダブルス 4回戦進出
●第64回大阪私立高等学校総合体育大会

剣道部

<高校>

- 剣道段位審査会(11/23)
●春季大会(4/29~4/30)

バレエ部

<高校>

- 大阪高等学校バレエボール春季大会二次予選(6/4)

吹奏楽部

<中学校・高校>

- 大阪府吹奏楽コンクール中地区大会(7/30)

美術部

<中学校>

- 第66回大阪私立美術展(7/25~7/30)

<高校>

- 第66回大阪私立美術展(7/25~7/30)
●第37回近畿高等学校総合文化祭 大阪大会

工芸部

<高校>

- 第66回大阪私立美術展(7/25~7/30)
●第37回近畿高等学校総合文化祭大阪大会

大学

- 新体操部
●第59回関西学生新体操選手権大会(4/29~4/30)
●第69回全日本学生新体操選手権大会(8/14~8/17)

春の公開講座

親子で陶芸教室

土とふれあい、そして何よりも親子の共同製作...



日時 場所 定員 受講料
7月28日(土) 陶工教室 20組親子1組(2名)
10:30~12:00 40名 2500円

●講師:安部永准教授 ●主催:児童学科
●対象:小学生とその保護者

心理学の世界V「人間関係と心」

家族、仕事、地域社会など私たちをとりまく環境の基盤ともいえる人とのかかわりが生み出す「こころ」...

日時 講座名/講師 申込締切
5月19日(土) 「対人関係の心理学」/辻弘美教授 4月25日(水)
5月26日(土) 「家族、友人、職場の同僚などの人間関係を円滑にするワークショップ」/長谷川章子講師

●定員:各45名
●受講料:各1000円(①~⑥全5回4500円)
●主催:心理学科

食卓上のフィロソフィー

～毎日の食卓の基本的な美味しいレシピを学びましょう～

季節の恵みをたっぷり楽しむお料理は心と体を癒やします。一つの食材を丁寧に、お料理を、心を込めて作るよろこびを分かち合しましょう。

- ①「誰でも大好きなオムライス」
②「初秋の中華料理」
●講師:田中愛子教授
●主催:ライフプランニング学科

日時 5月14日(月) 10:30~13:30
9月 3日(月) 10:30~13:30
申込締切 4月11日(水) 8月8日(水)
定員 ①②各15名
受講料 ①②各3500円

●申込方法:大学ホームページまたはFAXにて①住所②氏名(フリガナ)③年齢④性別⑤電話番号⑥FAX番号⑦参加希望講座名をご記入のうえ、下記までお申込みください。

SHOIN子育てカレッジ2018

児童学科は毎年、地域のお子さんと子育て中の保護者を対象に親子で楽しめる様々なイベントを企画しています。



日時 7月8日(日) 10:30~15:30
定員 1000名

●申込不要 受講料無料
●主催 & お問い合わせ: 児童学部研究事務局 TEL: 06-7507-1472

身体表現発表会

全国レベルの大会で活躍するダンス、バントフリング、ボンボンチア、新体操部の生徒が身体表現の魅力地域に発信します。



日時 5月2日(水) 第1回 16:00開場 17:00~19:00(予定)
5月3日(木) 第2回 13:00開場 14:00~16:30(予定)
会場 八尾市文化会館(八尾プリズムホール)

●費用:無料
●申込 & お問い合わせ: 中高入試広報室 TEL: 06-6723-8185 http://www.osaka-shoin.ac.jp/jhs/

幼稚園の園庭開放

親子で幼稚園に遊びに来ませんか? 「子育て支援事業」の一環として、地域の未就園の子どもたちを対象に、毎回工夫を凝らし、ご家庭ではなかなか経験できないような楽しい遊びを企画しています。

日時 4月21日(土)・24日(火) 5月19日(土)・28日(月)
6月16日(土)・26日(火) 7月5日(木)・21日(土)
いずれも10:00~12:00

●費用:無料 定員:限定50名
●申込 & お問い合わせ: 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園 TEL: 06-6723-8189 http://www.osaka-shoin.ac.jp/kg

美 Beautiful 公開シンポジウム

「なにわことばで花が咲く 春一番の落語会」

大阪が誇る「美」のひとつである「船場ことば」をテーマとした講演と落語の催しを通し、伝統ある国文学科の新たな展開を紹介します。

●申込方法: ホームページ(http://www.osaka-shoin.ac.jp/univ/beautiful/)の申込フォームより送信してください。
●お問い合わせ: 大阪樟蔭女子大学企画課 TEL:06-6723-8265

日時 3月17日(土)14:00~16:00(開場13:30)
場所 円形ホール
入場料 無料

- 講演 「船場ことばと「はんなり」」(国文学科教授 田原広史)
●対談 「かい枝さんに聞く」(客員教授 桂かい枝/国文学科教授 森西真弓)
●落語 「格気の独楽」(客員教授 桂かい枝) 開口一番(卒業生・落語家 笑福亭縁)

「樟蔭色」を伝える～深緑の袴をめぐって～

大学 学芸学部 化粧ファッション学科  
ファッション学専攻 水野 夏子 先生



みずの・なつこ  
●大学 学芸学部  
化粧ファッション学科  
ファッション学専攻 専任講師  
東大阪生まれ。  
2014年4月より大阪樟蔭女子  
大学に勤務。専門分野：服飾史、  
服飾美学。博士(学術)

正門を入り体育館(百年会館)の西側に、樟蔭の草創期を知る建物「樟古館」があります。かつては洗濯教室として使用されていましたが、現在は、開学以来の歴史を伝える貴重な資料—徽章や教科書、裁縫道具箱、ミシン等—が展覧できる展示室として活用されています。展示資料の中に、大正期の樟蔭高等女学校の袴があります。現在も卒業式で着用される深緑の袴は、樟蔭高女の袴が源流です。大正6年の樟蔭高女の認可そして開設にあたり、森平蔵夫人が出入りの小丸呉服店(心斎橋)に命じて染めを試みさせ、結果選定された深緑が樟蔭を標榜する袴の色となりました。当時の女学校の袴は海老茶や紺が一般的である中、まさにその深緑は樟蔭オリジナ

ル。後にセーラー服が制服になった際、『大阪朝日新聞』の連載「女学生の服装」の初回(昭和3年5月2日)に、「ネクタイと襟に傳へる樟蔭色」という見出しで樟蔭高女が取り上げられ、記事では、袴の色である深緑を「樟蔭色」として、袴を着ける女性が皆愛用するほど、「樟蔭色」の袴は憧れの対象で、大阪の流行を風靡したと述べられています。卒業アルバムを見ると、樟蔭高女の深緑の袴は、他の女学校と同様に、成長に合わせて丈を調節するよう、タックで生地を数段に畳んで裾を上げ着用されています。大正11年頃からは裾に白線が入っています。白線はどの学校の生徒であるか識別できることから、他の女学校でも見られましたが、樟蔭では裾線に平行な細い直線の白線1本でした。深緑で樟蔭と判断できたはずが、「樟蔭色」の袴が大流行したため、白線による区別が必要になったのでしょうか?大学の前身である樟蔭女子専門学校においても深緑の袴を制服としました。卒業アルバムでは、昭和12年頃からスーツの制服



創立当時の袴姿

が見られますが、戦前では袴姿が大半を占めています。戦争が始まると深緑の袴は禁止されました。昭和19年に樟蔭女専に入学された田辺聖子さんが、どうしても卒業式に着たかったから疎開しても深緑の袴は手放さなかった、と著書で述べられているように、戦争で憧れだった深緑の袴が着用できず失望した卒業生は少なくありません。終戦後、アルバムには袴が再び現れます。洋装へ移行する時世にほぼ全員が袴を着用する姿が見受けられ、樟蔭生と深緑の袴との強い結びつきが窺えます。戦後はスーツが第1制服、袴が第2制服となりましたが、卒業式ではほとんどが袴を装っています。大学開設から現在に至りミモレ丈に変化しましたが、樟蔭生は「樟蔭色」の袴で卒業式に出席しています。これからの100年に向け、ファッションを専門とする教員として、伝統の「樟蔭色」の袴を、樟蔭のブランドアイデンティティーの確立や周知につなげていければと思っています。

STAFF @ SHOIN 12



まつした・ゆきこ ●大阪府出身。2006年3月樟蔭中学校、2009年3月樟蔭高校卒業。2013年3月大阪樟蔭女子大学国文学科卒業。近世の歴史を学びたくて国文学科歴史文化専攻へ。卒論テーマは「長谷川平蔵」。インドア派で本を読んだり、海外ミステリードラマを見るのが好き。

松下有貴子 さん

100周年記念事業本部 資料室

学園の歴史を後世に「アーカイブ」づくりを進めています

たので、100年分の資料がきちんと残っています。地道な作業ですが学園の歴史を後世に伝える大事な仕事です。在学中は知らなかった学園の歴史に触れ、改めて女子校としてのすばらしい伝統を感じる日々です。

創立100周年事業の一環で、学園創立時からの文書や写真など貴重な資料を整理して目録にまとめながら、同時に写真撮影し電子データ化を進めています。私は国文学科歴史文化専攻の最後の卒業生になりますが、資料の扱い方や文字の解読など大学時代に学んだことがとても役立っています。資料は文書、アルバム、記念誌、卒業生の思い出の品など多岐にわたります。創立時の申請書などを見ると、裁縫や料理に手厚い人材を配置しているのに驚かされます。女性を育てるために優秀なスタッフを集め、最高の教育を受けさせたいという思いが伝わってきます。大正と昭和初期の修学旅行など先輩たちの笑顔の写真にはつい見入ってしまいます。みんなのびのびと存分に楽しんでいる。学校生活を謳歌し、成長していく姿は変わらない伝統だと思います。私自身、社会に出て、話し方や言葉づかい、目上の人との接し方などが自然と身に付いていることに気付かされました。樟蔭で社会との関わり方を確実に学んだと思っています。大正時代の資料はどれも紙質が良く、いい状態が残っています。ところが、物資の乏しかった終戦直後の資料は粗悪。ボロボロになっていたり、卒業証書を再利用してメモ帳代わりにしているなど時代の空気がよく分かります。幸い学園の資料は戦災で焼失しなかつたので、100年分の資料がきちんと残っています。地道な作業ですが学園の歴史を後世に伝える大事な仕事です。在学中は知らなかった学園の歴史に触れ、改めて女子校としてのすばらしい伝統を感じる日々です。



学校法人 樟蔭学園 大阪樟蔭女子大学/大学院 樟蔭高等学校 樟蔭中学校 大阪樟蔭女子大学附属幼稚園

